

「環境月間金沢大学講演会」

大学は多種多様な施設をもち、活動時間も長く、多くのエネルギーを消費しています。そのような中、いま大学に求められるのは積極的なエネルギー対策の取り組みです。「環境月間」期間中に、大切なエネルギーについて、自ら今一度考え、行動するにはどうすればよいのか・・・？ 地球温暖化防止のために、共に考えてみましょう。是非ご聴講下さい。

日 時 2011年6月28日(火) 14:00～16:10

場 所 金沢大学自然科学大講義棟「レクチャーホール」

講演 1. 省エネ法と省エネ対策について (1時間)

講 師 高橋 幸志 先生

北陸電力株式会社 石川支部 営業部 営業担当 (商工コンサル担当)

〔内 容〕

- ⊙ 省エネ法について
- ⊙ 業務用ビルの省エネ法 (空調・給湯・照明)、その他省エネ機器のご紹介

— 10分間休憩 —

講演 2. 理工研究域サステナブルエネルギー研究センター、
そして有機薄膜太陽電池部門での開發現状について (1時間)

講 師 高橋 光信 先生

金沢大学 理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター長

〔内 容〕まず、演者が初代センター長を務める、本年4月1日に設立された理工研究域サステナブルエネルギー研究センター (RSET) の設立主旨について説明する。そして、地産地消型エネルギーの効率的変換・創成・再資源化など、エネルギー生産からその利用までの一貫したエコシステムの構築に取り組む、本センターに設置された5部門について概説する。次に、日本のエネルギー事情について簡単に眺め、演者が長年携わっている有機薄膜太陽電池について、本研究を25年ほど前に始めた動機、その発電原理、金沢大学での開発状況、期待される用途、さらに、これからの課題について説明する。